

みんなで美味を味わう！ てっくいをテーマに新イベント開催

7月4日、本町の主要魚種『てっくい（ひらめ）』をテーマにした『てっくい海鮮まつり』が、檜山漁協女性部上ノ国支所（品田俊子部長）主催のもと汐吹漁港で開催されました。

このイベントは、特産品のヒラメを目玉に、ウニやアワビの販売、浜のお母さん方によるタコ飯やいちご煮（アワビとウニでダシをとった塩汁）といった浜料理の販売、漁船の乗船体験やイカ釣り体験、特大ヒラメの解体ショーなど、海ならではの催しが盛り沢山のイベントとなりました。

今年、新たに行われた背景には、地元で獲れる美味しい海産物を地元で味わってほしいとの地域の思いがあり、販売されているものはその場で味わうことができる



よう、会場には炭焼き台が設置されていました。

天気は概ね快晴で、初開催にも関わらず、1500人の方々が訪れました。

この日は家族連れが多く、感想を伺うと「地元の海産物を家族皆で味わいたくて来た」「漁船乗船やイカ釣りを子供たちが楽しんでいてとても良かった」とのお話もあり、本町の新しいイベントを、多くの方々が楽しんでる様子でした。

また、主催者側からは、「初めてなのに多くの方々に来ていただいて嬉しい。来年も更に楽しんでもらえるよう頑張ります」との抱負もあり、今から来年が楽しみにする意気込みが感じられました。

JR廃線から1年 天の川駅でメモリアルイベント



7月5日、湯ノ岱と宮越の間の鉄道路線にある天の川駅モニユメントで、夢れる倶楽部主催（小橋達也代表）によるメモリアルイベントが開催されました。

このイベントは、JR江差線廃線1年を迎え、解体が決まった天の川駅のお別れイベントとして行われました。

この日は、天の川駅モニユメントのほか、江差―木古内間の全11駅の看板が張り出され、路線バスが天の川駅に1日だけ停車するツアーや、記念撮影、記念スタンプの設置などが企画されました。

江差線を懐かしむ地元の方や鉄道ファンが最後の思い出として楽しんでいました。

道南陸上競技選手権で 上生のレーシングチームが優勝！

7月4日、函館千代台競技場で行われた『第48回道南陸上競技選手権大会』において、上ノ国中学校女子生徒5人で構成されるリレーチームが400mリレーに出場し、道南標準記録を突破して見事優勝しました。

今回出場した5人は、来年度から中学校の陸上部が廃部となることから『今年中に必ず標準記録を超えよう！』を合言葉に練習に打ち込んできたそうです。

指導者や父母の方々には、子供たちが努力の末に目標を達成したことを称え、生徒たちも出場が決定している中体連全道大会に弾みがつく結果となりました。

